

1 調査の目的

障がい者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送るためには、障がい者のニーズを反映した適切なサービスの提供、関係機関の連携、地域での見守り体制等が重要な要素となります。

障がい者に関する計画は、障害者基本法に基づき、障がい福祉施策の基本的な計画として策定する障害者福祉計画、障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス等の確保に関する計画として策定する障害福祉計画があります。また、障がい児に関する計画は、児童福祉法に基づき、障害児支援の提供体制に係る整備計画として障害児福祉計画があります。

本市では、令和3年度から始まる厚木市障がい者福祉計画（第6期）、厚木市障害福祉計画（第6期）及び厚木市障害児福祉計画（第2期）の策定に向けて、市内にお住まいの障がい者や市内で障害福祉サービスを実施している事業者、法人を対象に、障がい者が地域で暮らしていく上での課題やニーズを的確に把握するために調査を行いました。

2 調査設計

（1） 障害福祉サービス利用実態調査

ア 対象者

身体障がい者	190 人
知的障がい者	200 人
精神障がい者	180 人
障がい児（18歳未満）	130 人
合計	700 人

※市内在住の障害福祉サービス受給者（令和元年10月1日現在）2,150人のうち、700人を無作為抽出しました。

イ 調査方法

郵便による配布・郵便による回収

ウ 調査期間

令和元年11月18日～12月6日

エ 調査内容

(1) あなたご自身について	6 問
(2) 生活状況について	17 問
(3) 訪問系サービスについて	3 問
(4) 日中活動系サービスについて	3 問
(5) サービス等利用計画について	2 問
(6) その他	1 問
自由記述	1 問

(2) 障害福祉サービス提供実態調査

ア 対象者

市内の障害サービス事業所 151事業所

※地域活動支援センター、日中一時支援及び移動支援事業者を含む。

イ 調査方法

郵便又はメールによる配布・FAX又はメールによる回収

ウ 調査期間

令和2年1月10日～1月24日

エ 調査内容

(1) 事業所の運営状況について	10 問
(2) 事業展開における現状と課題について	5 問
(3) 地域生活支援への取組について	4 問
(4) その他	2 問
自由記述	1 問

3 回収状況

		配付数	回収数	回収率
障害福祉サービス利用実態調査		700	368	52.6%
	身体障がい者	190	119	62.6%
	知的障がい者	200	105	52.5%
	精神障がい者	180	97	53.9%
	障がい児（18歳未満）	130	47	36.2%
障害福祉サービス提供実態調査		151	95	62.9%

※手帳を複数所持している場合は、主たる障害者手帳の種類で集計

※手帳を所持していない発達障がい者は、知的障がい者に含めて集計

※手帳を所持していない高次脳機能障がい者は、精神障がい者に含めて集計

4 調査結果の表示方法

- (1) 重複障がいの場合は、それぞれの障がい種別で集計しています。
- (2) 「全体」は、回収した368人分のうち回答があった人数を集計したものであり、障がい種別の合計ではありません。
- (3) 回答者によっては一部未回答（無記入）があるため、有効回答数が368人に満たない設問が多くなっています。ただし、複数回答となっている設問には、有効回答数の項目は設けていません。
- (4) 一部、百分率（％）で表示しているものもありますが、小数点以下第1位を四捨五入しています。百分率（％）の合計が100%にならないこともあります。